

2023年度第3四半期 決算補足説明資料

－ 2024年2月5日 －

京王電鉄株式会社

2023年度第3四半期実績

- すべてのセグメントで対前年増収となり、営業収益は2,940億円
- その他業を除く各セグメントで前年と比べて改善し、営業利益は395億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は253億円
- 対前回予想では、営業収益は運輸業、流通業、レジャー・サービス業で想定を上回り26億円の増収、営業利益はすべてのセグメントで想定を上回り44億円の増益

2023年度通期の業績予想

- サンウッドを連結子会社化したことに加え、ホテル業における客室単価上昇による売上高の増加や、輸送人員増加による鉄道事業およびバス事業の好調などにより、営業収益は4,040億円（対前回予想+110億円）、営業利益は425億円（対前回予想+65億円）、親会社株主に帰属する当期純利益は269億円（対前回予想+17億円）を見込む
- 配当予想の見直しを行い、年間配当金は1株につき52.5円を予定（対前回予想+7.5円）

I. 2023年度第3四半期実績

1. 連結損益計算書
2. セグメント別の概況
3. セグメント情報（運輸業）
4. セグメント情報（流通業）
5. セグメント情報（不動産業）
6. セグメント情報（レジャー・サービス業）
7. セグメント情報（その他業）
8. 営業外・特別損益
9. 連結貸借対照表

1. 連結損益計算書

(単位：億円、%)

	2023年度第3四半期の業績				
	2022年度 第3四半期 実績	2023年度 第3四半期 実績	前年増減 (増減率)	2023年度 第3四半期 前回予想 <small>(2023.11.6公表ベース)</small>	予想差異 (差異率)
営業収益	2,518	2,940	421 (16.7)	2,914	26 (0.9)
営業利益	188	395	206 (109.7)	350	44 (12.6)
経常利益	190	394	203 (106.5)	345	48 (14.0)
親会社株主に帰属する四半期純利益	127	253	126 (99.3)	235	17 (7.5)
EBITDA	403	618	215 (53.4)	576	42 (7.4)
減価償却費	214	222	7 (3.4)	224	△2 (△1.1)

※EBITDAは、営業利益＋減価償却費＋のれん償却額により算出している。

2. セグメント別の概況

- 営業収益は、すべてのセグメントで対前年増収
- 営業利益は、その他業を除く各セグメントにおいて対前年で改善
- 対前回予想では、営業利益はすべてのセグメントで想定を上回る

(単位：億円、%)

		2023年度第3四半期の業績				
		2022年度 第3四半期 実績	2023年度 第3四半期 実績	前年増減 (増減率)	2023年度 第3四半期 前回予想 <small>(2023.11.6公表ベース)</small>	予想差異 (差異率)
営業 収益	運 輸 業	834	926	92 (11.0)	914	12 (1.3)
	流 通 業	755	822	67 (8.9)	819	3 (0.4)
	不 動 産 業	365	423	58 (15.9)	427	△ 3 (△ 0.9)
	レジャー・サービス業	362	533	170 (47.2)	516	17 (3.3)
	そ の 他 業	412	458	45 (11.1)	475	△ 16 (△ 3.5)
	連 結 修 正	△ 211	△ 224	△ 12 (—)	△ 238	14 (—)
	連 結	2,518	2,940	421 (16.7)	2,914	26 (0.9)
営業 利益	運 輸 業	70	144	73 (104.3)	130	14 (11.1)
	流 通 業	29	50	20 (69.0)	46	3 (8.2)
	不 動 産 業	91	102	11 (12.2)	95	7 (7.7)
	レジャー・サービス業	△ 27	74	101 (—)	61	12 (20.1)
	そ の 他 業	24	23	△ 1 (△ 4.1)	17	6 (39.7)
	連 結 修 正	△ 1	△ 0	0 (—)	0	△ 0 (—)
	連 結	188	395	206 (109.7)	350	44 (12.6)

3. セグメント情報（運輸業）

- 鉄道事業では、輸送人員が前年同期と比べて回復したことに加え、2023年10月の運賃改定などにより、旅客運輸収入が増収
- バス事業においても、路線・高速などで増収

(単位：億円、%)

	2023年度第3四半期の業績		
	2022年度 第3四半期 実績	2023年度 第3四半期 実績	前年増減（増減率）
営業収益	834	926	92 (11.0)
（鉄道事業）	533	590	56 (10.6)
（バス事業）	238	271	33 (13.8)
（タクシー業）	81	78	△ 2 (△ 2.9)
（その他）	19	19	0 (2.8)
（消去）	△ 37	△ 33	4 (—)
営業利益	70	144	73 (104.3)
（鉄道事業）	60	106	45 (76.1)
（バス事業）	7	36	29 (391.5)
E B I T D A	191	269	77 (40.4)
減価償却費	120	124	3 (3.0)

3. セグメント情報（運輸業）

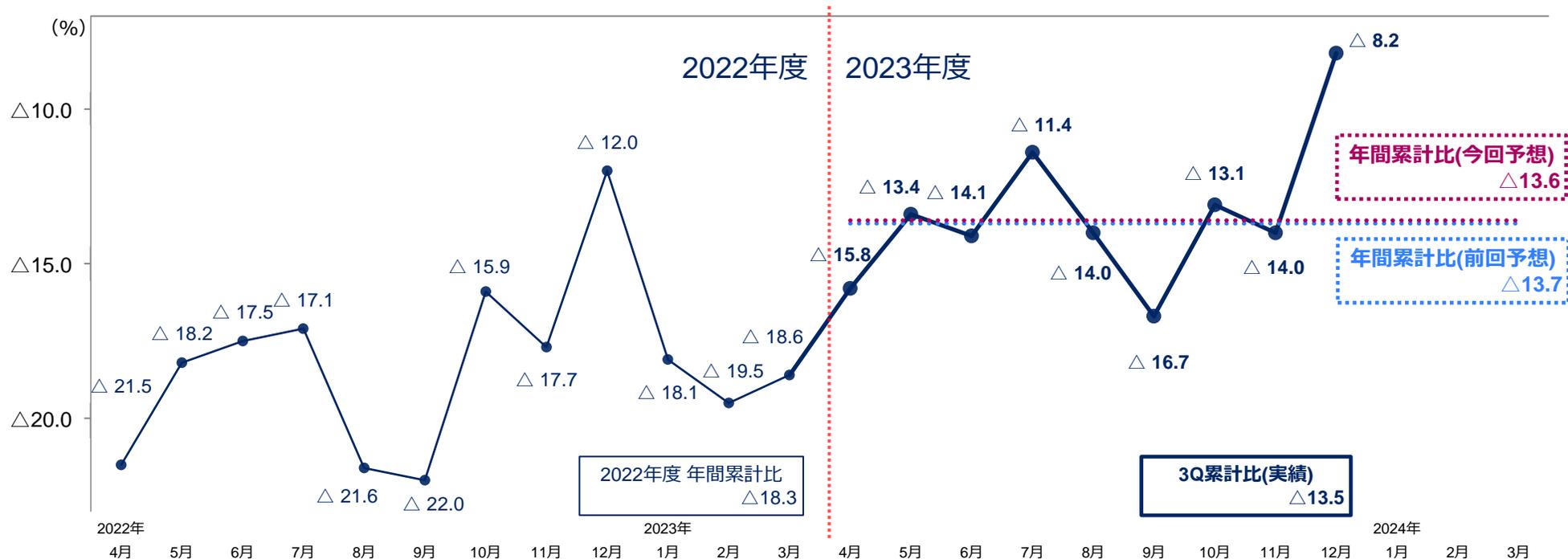
鉄道事業運輸成績

(単位：千人、百万円、%)

		2023年度第3四半期の業績		
		2022年度 第3四半期 実績	2023年度 第3四半期 実績	前年増減（増減率）
輸 送 人 員	定 期	237,523	247,708	10,185 (4.3)
	(通 勤)	172,698	180,695	7,997 (4.6)
	(通 学)	64,825	67,013	2,188 (3.4)
	定 期 外	183,022	197,096	14,074 (7.7)
	合計	420,545	444,804	24,259 (5.8)
旅 客 運 輸 収 入	定 期	20,003	21,277	1,273 (6.4)
	(通 勤)	17,595	18,805	1,210 (6.9)
	(通 学)	2,408	2,471	63 (2.6)
	定 期 外	30,421	34,492	4,070 (13.4)
	合計	50,425	55,769	5,344 (10.6)

3. セグメント情報（運輸業）

鉄道事業 輸送人員合計 対2018年度同月比の推移



2023年度 鉄道輸送人員（対2018年度比）

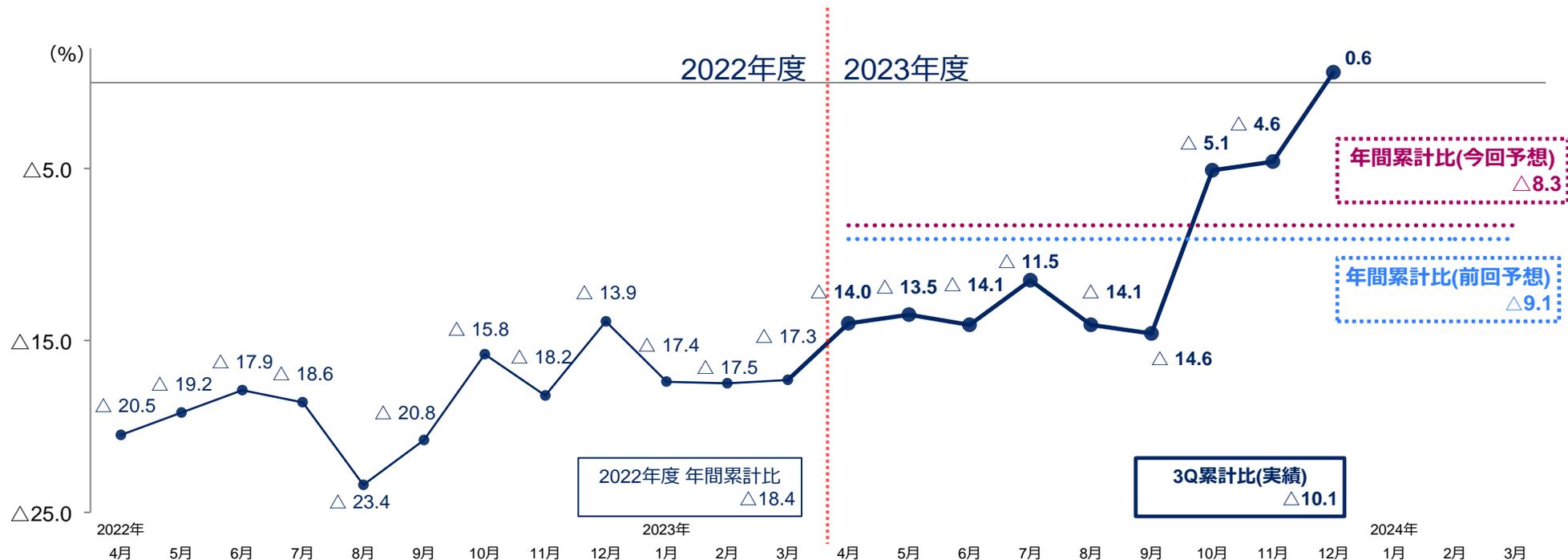
(単位：%)

(参考)

	4月	5月	6月	1Q累計	7月	8月	9月	2Q累計	10月	11月	12月	3Q累計	2022年度 通期
定期計	△23.1	△19.3	△19.7	△20.7	△17.2	△20.3	△24.1	△20.6	△18.0	△19.0	△10.7	△19.1	△23.4
通勤	△23.1	△23.5	△23.4	△23.4	△21.4	△22.4	△22.7	△22.8	△21.3	△22.5	△16.0	△21.9	△26.1
通学	△22.9	△7.2	△9.2	△13.1	△3.7	△11.7	△27.9	△14.0	△8.0	△8.6	7.2	△10.7	△14.7
定期外	△5.2	△4.5	△5.2	△4.9	△2.6	△5.3	△5.4	△4.7	△5.8	△6.7	△5.0	△5.1	△10.8
合計	△15.8	△13.4	△14.1	△14.4	△11.4	△14.0	△16.7	△14.2	△13.1	△14.0	△8.2	△13.5	△18.3

3. セグメント情報（運輸業）

鉄道事業 旅客運輸収入合計 対2018年度同月比の推移



2023年度 鉄道旅客運輸収入（対2018年度比）

(単位：%)

(参考)

	4月	5月	6月	1Q累計	7月	8月	9月	2Q累計	10月	11月	12月	3Q累計	2022年度 通期
定期計	△24.5	△24.0	△23.8	△24.1	△21.7	△24.0	△25.2	△23.9	△19.5	△18.1	△9.2	△21.2	△26.6
通勤	△24.5	△25.6	△25.2	△25.1	△23.3	△24.8	△24.4	△24.7	△20.5	△18.7	△10.5	△22.1	△27.6
通学	△24.5	△11.0	△13.0	△16.1	△7.9	△15.3	△31.4	△17.4	△11.0	△12.7	3.0	△14.2	△17.5
定期外	△6.1	△5.2	△6.1	△5.8	△3.3	△6.6	△6.0	△5.6	6.2	5.6	7.3	△1.5	△12.0
合計	△14.0	△13.5	△14.1	△13.9	△11.5	△14.1	△14.6	△13.6	△5.1	△4.6	0.6	△10.1	△18.4

4. セグメント情報（流通業）

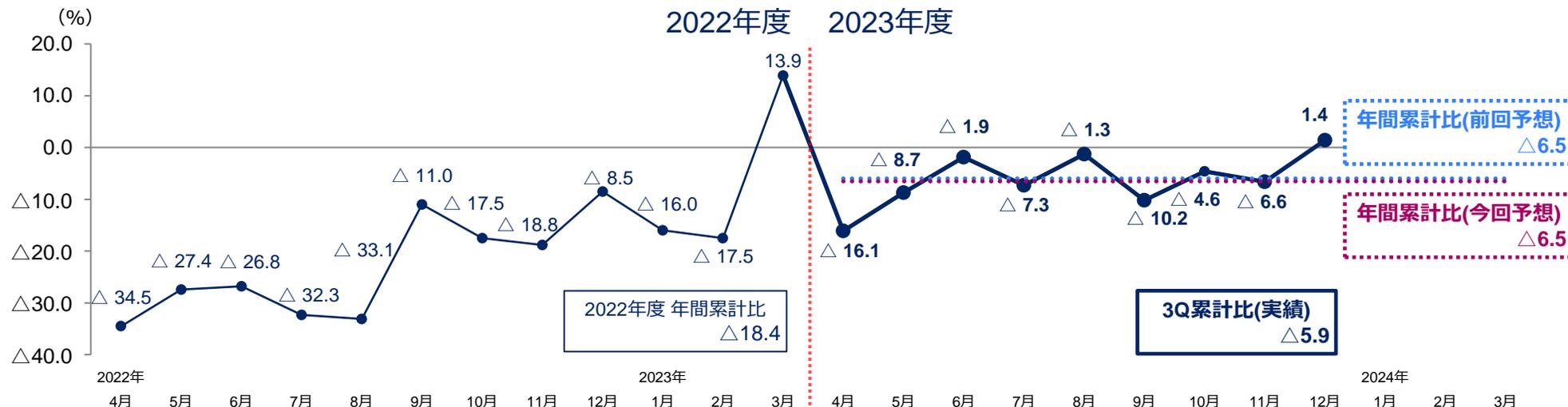
- 百貨店業では、食品フロアを中心とした新規顧客取り込みによる売上高増加などにより、増収
- ストア業では、スーパーマーケット事業およびコンビニ事業が好調に推移し、増収

(単位：億円、%)

	2023年度第3四半期の業績		
	2022年度 第3四半期 実績	2023年度 第3四半期 実績	前年増減（増減率）
営業収益	755	822	67 (8.9)
（百貨店業）	218	252	33 (15.3)
（ストア業）	362	391	29 (8.1)
（ショッピングセンター事業）	111	113	2 (2.2)
（その他）	107	109	1 (1.6)
（消去）	△ 43	△ 43	0 (—)
営業利益	29	50	20 (69.0)
（百貨店業）	△ 7	7	15 (—)
（ストア業）	10	16	5 (48.8)
（ショッピングセンター事業）	29	27	△ 1 (△ 6.5)
E B I T D A	56	81	25 (45.1)
減価償却費	26	31	4 (18.5)

4. セグメント情報 (流通業)

百貨店業 新宿店売上高 対2018年度同月比の推移 (「収益認識に関する会計基準」等適用前に換算)



ストア業 売上高 対2018年度同月比の推移 (「収益認識に関する会計基準」等適用前に換算)



5. セグメント情報（不動産業）

■不動産販売業では、リノベーション物件の売上増などにより増収

（単位：億円、%）

	2023年度第3四半期の業績		
	2022年度 第3四半期 実績	2023年度 第3四半期 実績	前年増減（増減率）
営業収益	365	423	58（15.9）
（不動産賃貸業）	281	298	17（6.1）
（不動産販売業）	136	182	46（33.9）
（その他）	24	33	8（35.5）
（消去）	△76	△90	△13（—）
営業利益	91	102	11（12.2）
（不動産賃貸業）	80	78	△1（△1.9）
（不動産販売業）	12	20	7（60.8）
E B I T D A	126	138	12（9.8）
減価償却費	35	35	0（1.1）

※不動産賃貸業の主な増収の要因は、サブリース物件の増加による。（連結決算上は消去）

6. セグメント情報（レジャー・サービス業）

- ホテル業では、訪日外国人旅行客の宿泊需要の取り込みなどにより、「京王プラザホテル（新宿）」や「京王プレッソイン」などの客室単価が、コロナ禍以前を上回る水準まで大きく回復し増収

(単位：億円、%)

	2023年度第3四半期の業績		
	2022年度 第3四半期 実績	2023年度 第3四半期 実績	前年増減（増減率）
営業収益	362	533	170 (47.2)
（ホテル業）	277	411	133 (48.0)
（旅行業）	57	77	20 (35.4)
（広告代理業）	50	55	5 (10.3)
（その他）	44	47	3 (7.0)
（消去）	△67	△58	8 (—)
営業利益	△27	74	101 (—)
（ホテル業）	△19	73	93 (—)
E B I T D A	4	104	99 (—)
減価償却費	31	29	△1 (△5.6)

6. セグメント情報 (レジャー・サービス業)

ホテル業 京王プラザホテル (新宿) 売上高 対2018年度同月比の推移



ホテル業 京王プラザホテル (新宿) 客室稼働率の推移



7. セグメント情報（その他業）

- 建築・土木業では、2023年5月にNB建設を連結子会社化したことなどにより増収
- 車両整備業では、受注増などにより増収

(単位：億円、%)

	2023年度第3四半期の業績		
	2022年度 第3四半期 実績	2023年度 第3四半期 実績	前年増減（増減率）
営業収益	412	458	45 (11.1)
（ビル総合管理業）	169	175	5 (3.4)
（車両整備業）	47	58	11 (23.7)
（建築・土木業）	138	163	24 (17.6)
（その他）	68	69	1 (2.0)
（消去）	△ 11	△ 8	3 (—)
営業利益	24	23	△ 1 (△ 4.1)
（ビル総合管理業）	11	12	0 (4.0)
（車両整備業）	4	5	1 (38.2)
（建築・土木業）	6	4	△ 2 (△ 38.8)
E B I T D A	28	28	△ 0 (△ 0.3)
減価償却費	3	3	0 (4.2)

8. 営業外・特別損益

(単位：億円)

	2022年度 第3四半期 実績	2023年度 第3四半期 実績	増減	増減要因
営業収益	2,518	2,940	421	
営業利益	188	395	206	
営業外収益	26	23	△2	
営業外費用	23	24	1	
経常利益	190	394	203	
特別利益	30	4	△26	固定資産売却益△21億円
特別損失	14	28	13	減損損失+11億円
法人税等	79	115	36	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	127	253	126	

9. 連結貸借対照表

- 総資産は、サンウツの連結子会社化や販売用不動産の取得による棚卸資産の増加などにより増加
- 負債は、サンウツの連結子会社化に伴う借入金等の増加や、資産除去債務の計上などにより増加
- 純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより増加

(単位：億円)

	2022年度 実績	2023年度 第3四半期 実績	増 減	増減要因
流 動 資 産	1,828	2,339	510	仕掛品+378億円、商品及び製品+79億円
固 定 資 産	7,723	8,003	279	有形固定資産+158億円、投資有価証券+133億円
総 資 産	9,552	10,342	790	
流 動 負 債	2,194	2,317	123	短期借入金+96億円
固 定 負 債	3,842	4,199	357	長期借入金+260億円、資産除去債務+108億円
負 債	6,036	6,517	481	
純 資 産	3,515	3,824	308	利益剰余金+201億円、その他有価証券評価差額金+75億円
負債及び純資産	9,552	10,342	790	

有 利 子 負 債	4,026	4,385	358
自 己 資 本 比 率	36.8%	36.9%	0.1P

※有利子負債は、借入金+社債により算出している。

Ⅱ. 2023年度通期の業績予想

1. 連結損益計算書
2. セグメント別の概況
3. セグメント情報（運輸業）
4. セグメント情報（流通業）
5. セグメント情報（不動産業）
6. セグメント情報（レジャー・サービス業）
7. セグメント情報（その他業）

1. 連結損益計算書

- サンウッドを連結子会社化したことに加え、ホテル業における客室単価上昇による売上高の増加や、輸送人員増加による鉄道事業およびバス事業の好調などにより、各段階利益は前回公表した業績予想を上回る見込み

(単位：億円、%)

	2023年度通期の業績予想				
	2022年度 実績	2023年度 今回予想	前年増減 (増減率)	2023年度 前回予想 <small>(2023.11.6公表ベース)</small>	予想差異 (差異率)
営 業 収 益	3,471	4,040	568 (16.4)	3,930	110 (2.8)
営 業 利 益	214	425	210 (97.9)	360	65 (18.1)
経 常 利 益	217	417	199 (91.5)	352	65 (18.5)
親会社株主に帰属する当期純利益	131	269	137 (105.1)	252	17 (6.7)
E B I T D A	506	734	228 (45.1)	669	64 (9.6)
減 価 償 却 費	291	308	16 (5.7)	308	△ 0 (△ 0.1)
資 本 的 支 出	528	675	147 (27.8)	675	— (—)

2. セグメント別の概況

(単位：億円、%)

		2023年度通期の業績予想				
		2022年度 実績	2023年度 今回予想	前年増減 (増減率)	2023年度 前回予想 <small>(2023.11.6公表ベース)</small>	予想差異 (差異率)
営業 収益	運 輸 業	1,111	1,240	128 (11.6)	1,224	16 (1.3)
	流 通 業	1,028	1,087	59 (5.8)	1,094	△ 6 (△ 0.6)
	不 動 産 業	528	657	128 (24.4)	575	81 (14.3)
	レジャー・サービス業	527	712	185 (35.1)	695	16 (2.4)
	そ の 他 業	647	778	130 (20.2)	769	8 (1.1)
	連 結 修 正	△ 371	△ 436	△ 64 (—)	△ 429	△ 6 (—)
	連 結	3,471	4,040	568 (16.4)	3,930	110 (2.8)
営業 利益	運 輸 業	39	126	87 (222.5)	115	10 (9.3)
	流 通 業	39	53	13 (35.6)	48	5 (10.5)
	不 動 産 業	120	120	△ 0 (△ 0.5)	105	14 (13.6)
	レジャー・サービス業	△ 21	81	102 (—)	59	21 (35.5)
	そ の 他 業	44	54	9 (21.0)	44	9 (21.3)
	連 結 修 正	△ 7	△ 10	△ 2 (—)	△ 14	3 (—)
	連 結	214	425	210 (97.9)	360	65 (18.1)

2. セグメント別の概況（第4四半期予想）

(単位：億円)

		2022年度				2023年度			
		1Q実績 4~6月	2Q実績 7~9月	3Q実績 10~12月	4Q実績 1~3月	1Q実績 4~6月	2Q実績 7~9月	3Q実績 10~12月	4Q予想 1~3月
営業収益	運輸業	275	270	288	277	298	302	325	313
	流通業	239	241	275	272	268	260	294	264
	不動産業	120	102	142	163	113	125	184	233
	レジャー・サービス業	104	111	146	165	159	181	191	179
	その他業	120	133	159	234	113	154	189	319
	連結修正	△63	△67	△80	△160	△66	△71	△85	△211
	連 結	797	791	930	952	887	952	1,099	1,099
営業利益	運輸業	23	22	24	△31	46	42	56	△18
	流通業	7	2	18	9	17	11	21	3
	不動産業	30	27	33	29	31	34	37	17
	レジャー・サービス業	△15	△15	4	5	20	24	29	6
	その他業	4	6	13	19	3	7	12	30
	連結修正	0	△0	△1	△6	0	△0	△0	△9
	連 結	51	42	94	26	119	119	155	29

3. セグメント情報（運輸業）

(単位：億円、%)

	2023年度通期の業績予想				
	2022年度 実績	2023年度 今回予想	前年増減（増減率）	2023年度 前回予想 <small>(2023.11.6公表ベース)</small>	予想差異（差異率）
営業収益	1,111	1,240	128（ 11.6 ）	1,224	16（ 1.3 ）
（鉄道事業）	710	797	86（ 12.2 ）	790	7（ 0.9 ）
（バス事業）	317	358	40（ 12.7 ）	350	7（ 2.1 ）
（タクシー業）	106	105	△ 0（ △ 0.8 ）	102	2（ 2.5 ）
（その他）	24	25	1（ 5.6 ）	25	0（ 0.4 ）
（消去）	△ 47	△ 46	1（ — ）	△ 45	△ 0（ — ）
営業利益	39	126	87（ 222.5 ）	115	10（ 9.3 ）
（鉄道事業）	29	93	64（ 220.9 ）	88	5（ 5.8 ）
（バス事業）	6	30	23（ 374.0 ）	22	7（ 32.3 ）
E B I T D A	203	298	94（ 46.2 ）	287	10（ 3.7 ）
減価償却費	164	171	6（ 4.1 ）	171	△ 0（ △ 0.1 ）
資本的支出	246	412	166（ 67.3 ）	412	—（ — ）

3. セグメント情報（運輸業）

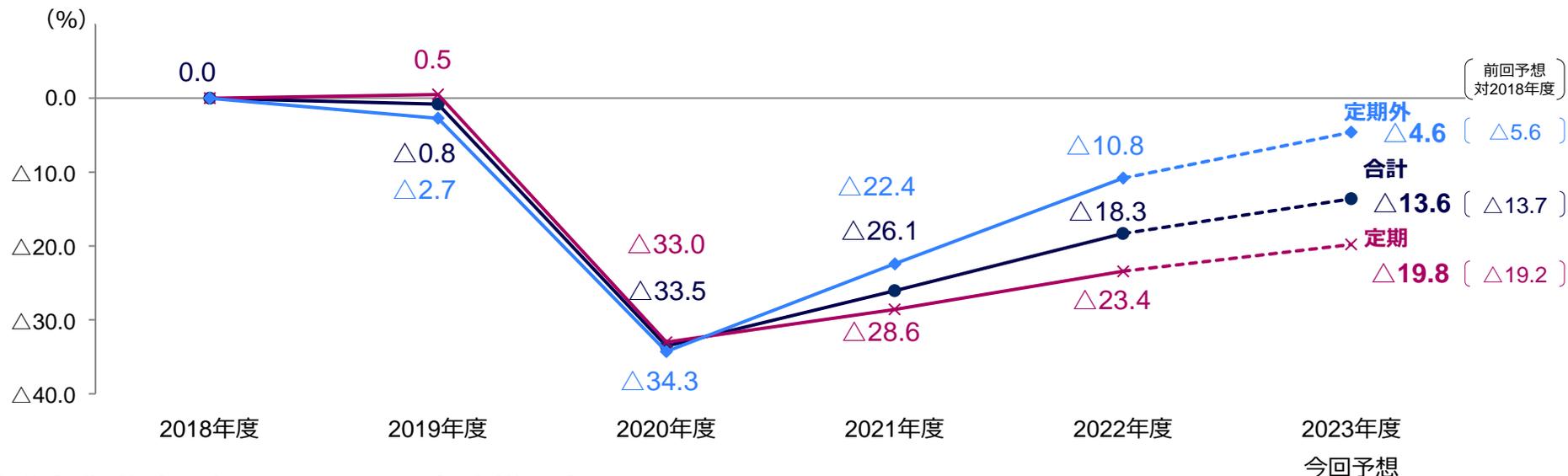
鉄道事業運輸成績

(単位：千人、百万円、%)

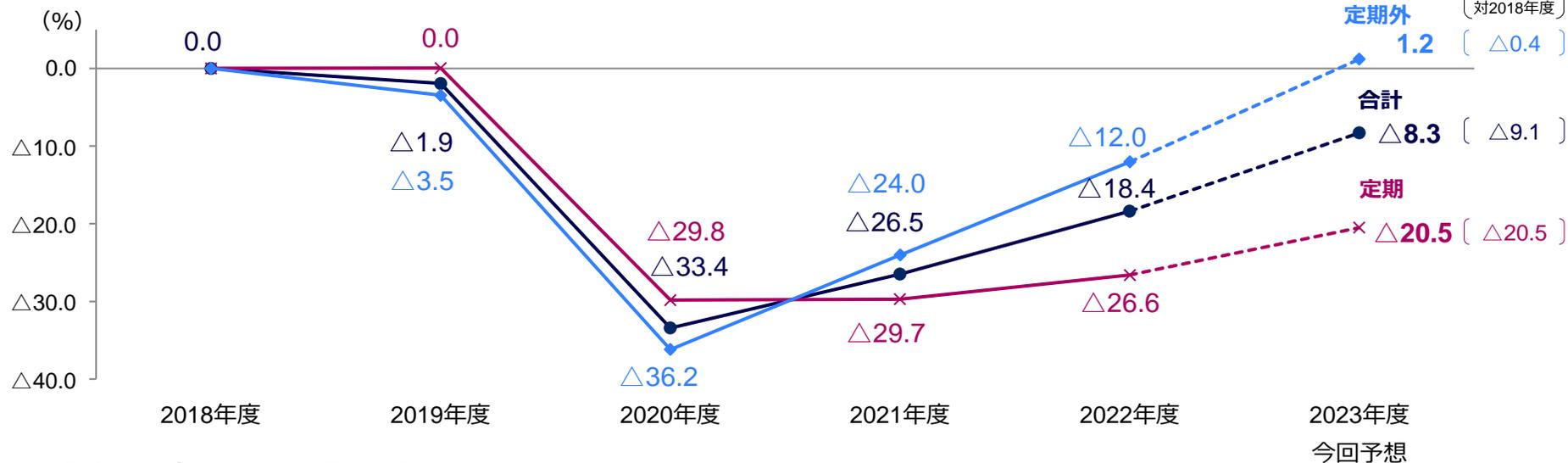
		2023年度通期の業績予想				
		2022年度 実績	2023年度 今回予想	前年増減（増減率）	2023年度 前回予想 <small>(2023.11.6公表ベース)</small>	予想差異（差異率）
輸 送 人 員	定 期	308,409	323,108	14,699 (4.8)	325,212	△ 2,104 (△ 0.6)
	(通 勤)	228,617	238,720	10,103 (4.4)	237,399	1,321 (0.6)
	(通 学)	79,792	84,388	4,596 (5.8)	87,813	△ 3,425 (△ 3.9)
	定期外	245,480	262,533	17,053 (6.9)	259,851	2,682 (1.0)
	合計	553,889	585,641	31,752 (5.7)	585,063	578 (0.1)
旅 客 運 輸 収 入	定 期	26,311	28,493	2,182 (8.3)	28,509	△ 15 (△ 0.1)
	(通 勤)	23,352	25,373	2,020 (8.7)	25,249	123 (0.5)
	(通 学)	2,958	3,120	161 (5.5)	3,260	△ 139 (△ 4.3)
	定期外	40,819	46,942	6,123 (15.0)	46,229	713 (1.5)
	合計	67,130	75,436	8,306 (12.4)	74,738	697 (0.9)

3. セグメント情報（運輸業）

鉄道事業 輸送人員 対2018年度増減率



鉄道事業 旅客運輸収入 対2018年度増減率



4. セグメント情報（流通業）

（単位：億円、%）

	2023年度通期の業績予想				
	2022年度 実績	2023年度 今回予想	前年増減（増減率）	2023年度 前回予想 <small>（2023.11.6公表ベース）</small>	予想差異（差異率）
営業収益	1,028	1,087	59（5.8）	1,094	△6（△0.6）
（百貨店業）	310	330	19（6.3）	341	△10（△3.2）
（ストア業）	483	519	36（7.5）	516	2（0.6）
（ショッピングセンター事業）	148	149	0（0.6）	148	1（0.8）
（その他）	143	146	2（1.9）	146	0（0.2）
（消去）	△58	△58	△0（—）	△58	△0（—）
営業利益	39	53	13（35.6）	48	5（10.5）
（百貨店業）	△5	7	12（—）	7	—（—）
（ストア業）	10	16	5（48.5）	15	1（7.5）
（ショッピングセンター事業）	38	29	△8（△23.1）	28	0（2.6）
E B I T D A	75	99	24（33.2）	94	5（5.5）
減価償却費	35	46	10（30.5）	46	0（0.3）
資本的支出	57	44	△13（△22.8）	44	—（—）

5. セグメント情報（不動産業）

(単位：億円、%)

	2023年度通期の業績予想				
	2022年度 実績	2023年度 今回予想	前年増減（増減率）	2023年度 前回予想 <small>(2023.11.6公表ベース)</small>	予想差異（差異率）
営業収益	528	657	128（24.4）	575	81（14.3）
（不動産賃貸業）	375	403	27（7.5）	396	7（1.8）
（不動産販売業）	219	333	114（52.1）	259	73（28.3）
（その他）	35	43	8（22.8）	41	2（4.9）
（消去）	△101	△122	△21（－）	△122	△0（－）
営業利益	120	120	△0（△0.5）	105	14（13.6）
（不動産賃貸業）	97	89	△8（△8.8）	84	5（6.0）
（不動産販売業）	25	28	3（12.2）	16	11（69.9）
E B I T D A	168	168	0（0.2）	154	14（9.2）
減価償却費	47	48	0（1.8）	48	△0（△0.5）
資本的支出	197	130	△66（△33.7）	130	－（－）

6. セグメント情報（レジャー・サービス業）

（単位：億円、%）

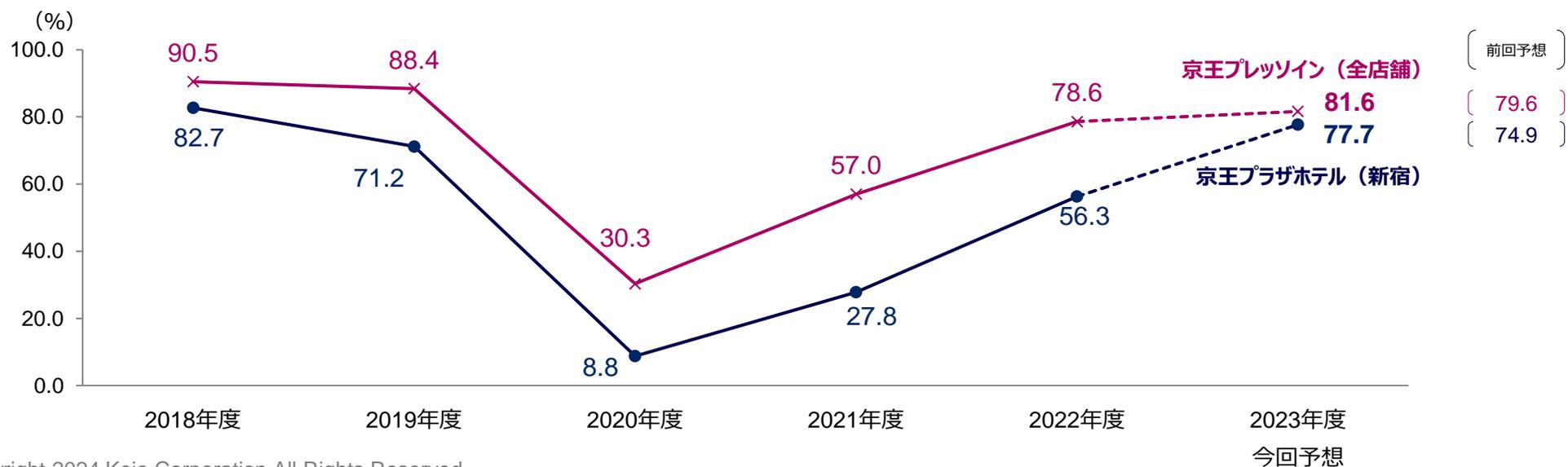
	2023年度通期の業績予想				
	2022年度 実績	2023年度 今回予想	前年増減（増減率）	2023年度 前回予想 <small>（2023.11.6公表ベース）</small>	予想差異（差異率）
営業収益	527	712	185（35.1）	695	16（2.4）
（ホテル業）	394	553	158（40.3）	526	26（5.1）
（旅行業）	78	106	27（35.0）	108	△2（△2.1）
（広告代理業）	80	84	4（5.3）	84	0（0.4）
（その他）	58	61	3（5.3）	61	△0（△0.0）
（消去）	△83	△92	△8（－）	△84	△7（－）
営業利益	△21	81	102（－）	59	21（35.5）
（ホテル業）	△15	78	93（－）	55	23（41.6）
E B I T D A	20	121	100（494.9）	99	21（21.2）
減価償却費	42	40	△2（△4.8）	40	0（0.0）
資本的支出	26	70	43（163.9）	70	－（－）

6. セグメント情報 (レジャー・サービス業)

ホテル業 売上高 対2018年度増減率



ホテル業 客室稼働率



7. セグメント情報（その他業）

(単位：億円、%)

	2023年度通期の業績予想				
	2022年度 実績	2023年度 今回予想	前年増減（増減率）	2023年度 前回予想 <small>(2023.11.6公表ベース)</small>	予想差異（差異率）
営業収益	647	778	130（20.2）	769	8（1.1）
（ビル総合管理業）	263	280	17（6.5）	271	9（3.4）
（車両整備業）	76	91	14（19.6）	90	0（0.8）
（建築・土木業）	235	335	99（42.3）	332	2（0.9）
（その他）	94	94	0（0.3）	98	△4（△4.6）
（消去）	△23	△24	△1（－）	△24	△0（－）
営業利益	44	54	9（21.0）	44	9（21.3）
（ビル総合管理業）	22	24	2（9.5）	22	2（9.9）
（車両整備業）	7	8	1（16.0）	8	△0（△3.0）
（建築・土木業）	15	18	2（19.0）	15	2（18.4）
E B I T D A	49	60	10（21.9）	50	9（18.3）
減価償却費	4	4	0（4.9）	5	△0（△3.8）
資本的支出	3	25	21（616.9）	25	－（－）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。